▶　キイロスズメバチ（大きさは３センチ程度）とその巣（初期）。このまま放置すれば数日間で倍以上の大きさになり、働きバチの数も数十匹から100匹近くになります。また、一つの巣があれば、その周辺には数十もの巣があるそうです。

9月～11月が最も危険です！ご注意ください!!

【身体に影響を及ぼす害虫】

スズメバチ（ハチ目・スズメバチ科）

皆さん、ご存知ですか？ 実はハチ刺されによる死亡者は毎年全国で20～30件近く報告されていることを。これは、マムシなどの毒蛇による死者数をはるかに上回る数で、スズメバチは、私たちの身近にいる生き物のなかで、最も危険な生き物なのです。

報告の中には、スズメバチの大群に襲われて、多量の毒により呼吸不全や心停止となり、死に至るケースもあります。しかし、最も注意しなければならないのが、たとえ1匹のハチに刺されても死に至る「アナフィラキシーショック（急性アレルギー反応）」によるショック死です。

人によりアレルギー反応の程度は異なるため一概には言えませんが、ハチに刺された後、数分後に刺傷箇所の腫れだけでなく、体全体に蕁麻疹やだるさ、息苦しさ、動悸、発熱、めまいなどの症状が出た時は、一刻も早く医療機関を受診しましょう。また、次回の刺傷は、特に注意が必要となります。

ハチの刺傷被害から身を守るための正しい知識を持ち、ハチを見かけた場合には、最大限の注意を払うことが大切です。

▲　駆除のため巣に近づくと同時に襲いかかってくるキイロスズメバチを追い払う森田さん（巣は森田さんの右上軒下）

はちみつ屋・モリタ（ハチ駆除業）
森田信勝さん

「危険なハチについて専門家に聞く」

約五千種いると言われるハチの仲間ですが、刺傷被害の原因となるハチは主にスズメバチ、アシナガバチ、ミツバチなどお尻に黄色と黒の縞のあるハチによるものが多いようです。特にスズメバチは九州内に5種類が生息しており、その中でも攻撃性が非常に強く、大きさも最大のオオスズメバチは、地中や低い位置にある樹洞（木の中にできた空洞）や、床下などに巣を作ることもあります。また、キイロスズメバチも身近によく見られるスズメバチの仲間で、やはり攻撃性が強く天井裏、床下、樹洞、軒下や木の枝など様々な場所に巣を作ります。キイロスズメバチは巣が手狭になったり、屋根裏などが暑くなる今の時期は、軒下や木の枝などの涼しい場所に巣を分けて数を増やしていきます。

通常ハチは、冬には全て死にますが、10月から11月にかけて生まれる新女王バチは、唯一越冬し来年の春に新たに子孫を増やす役目を負います。子孫繁栄のため、新女王バチを守るこの時期のハチは、一層攻撃性を増すので注意が必要です。